

S 5. 沖縄県海洋深層水研究所の施設の整備と維持管理

○鹿熊信一郎（沖縄県海洋深層水研究所）

1. 研究所の概要

沖縄県海洋深層水研究所は、平成 12 年に久米島の北東部真謝で開所した。県の農林水産部の管轄で、3.3ha の敷地に取水施設、本館、水産研究施設、農業研究施設がある。施設の延べ床面積は約 5000 m²である。深層水は、2.3km 沖合の水深 612m から 1 日 1.3 万トンを取水しており、取水量は全国一である。表層水も水深 15m から 1 日 1.3 万トンを取水している。県の職員は、研究職 4 名、庶務 1 名の 5 名で、他に 6 名の非常勤職員が勤務している。

2. 施設建設の経過と費用

本研究所は、平成 9～11 年度に科学技術庁所管の補助事業（補助率 1/2）により総事業費約 59 億円で建設された。このうち取水施設は約 29 億である。

3. 研究所の運営と維持管理

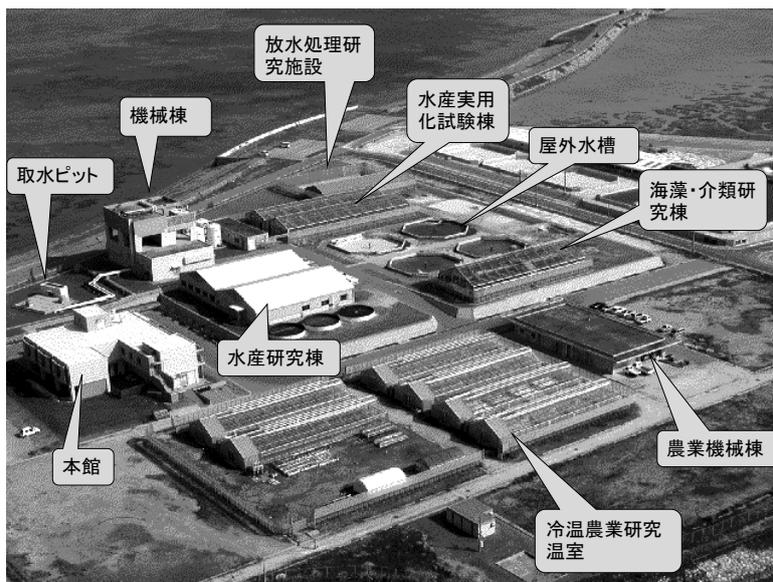
建設後 17 年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。このため、平成 27 年度より

「取水関連設備機能保全事業」として、年間約 2 千万円、5 年計画で設備の修繕を行っている。

平成 28 年度予算では、研究所の職員費が約 5 千万円、運営費が 6.6 千万円、研究費が 1.6 千万円である。運営費のうち 2.2 千万円が設備保守管理費、2.9 千万円がポンプ等の電気代である。

海洋深層水・表層水は、研究に使用するだけでなく、民間企業に有償で譲渡（分水）している。価格は、深層水は工業分野（水、塩、化粧品など）が 400 円／トン、水産分野（クルマエビ養殖、ウミブドウ養殖など）が 6 円／トンである。譲渡量の 98%以上は水産分野である。表層水は分野にかかわらず 6 円／トンである。

平成 28 年度では、海洋深層水、表層水をそれぞれ約 3.5 百万トン、3.4 百万トン取水し、このうち、それぞれ 0.5 百万トン、1.1 百万トンを企業に譲渡した。譲渡金額は、それぞれ約 6 百万円、7 百万円だった。



沖縄県海洋深層水研究所の施設